

秋に！ 冬に！ 春に！ あぜりあを通じて海外留学をしてみませんか？

当校でも多数の生徒様が海外へ短期・中期・長期に亘り海外留学をされています。特に評判が高いEF INTERNATIONAL SCHOOLSは、質の高いカリキュラム、質の高い講師陣、パーソナルなサポート体制を誇りお勧めです。なかでも①学習に最適なロケーション②世界中の権威ある公的機関に認められた学習プログラム③最短約9ヶ月間で新しい言語がマスターできるメソッド④60科目から選べるアカデミック学習⑤クラスメートは100カ国から⑥安心のサポート体制。以上6項目をEFが選ばれる理由そしてお勧めできる理由としてあげる事ができます。

英語圏ですと北米、イギリス、アイルランド、オーストラリア、ニュージーランド、フィリピン……。しかし最近では英語圏に留まらず多様な国々に個々の目的を抱き海外留学される方が増加しています。価値観の多様化、細分化の表れでしょうか。昔ですとあまり日本人が渡航しない国に意欲と好奇心を持ち、行かれる方もいます。非常に能動的、積極的で羨ましい限りです。マルチリンガルは今では珍しくありません。

あぜりあらんぐえーじすくーるでは人生を前向きに有意義に生きようとする生徒様を全面サポート致します。その一端が海外留学です。当校利用のメリットは、ご検討されている生徒様にはできるだけ多くの生きた情報を事前に提供する事です。通貨為替問題、治安問題、天候問題、健康サポート現地事情、滞在先選択、学校自体の信頼度、学校に通う事に伴うメリットなどなど。しかも、通常17,000円の手数料が無料になる事です。

最短で2週間、長期で数年に及ぶEFの留学プランは豊富な訪問先、数多くのコースが用意されています。いつでもお気軽にお声をお掛け下さい。

TOEIC テストのやりがいと今後の期待

年に8回行われるTOEIC公開テストに3回程受験している私にとってTOEICはかけがえのない存在です。読解力、語彙力、リスニング力の維持と現状総合能力の確認という点においてやりがいを感じさせてくれます。

やりがい点を簡潔にすると①気力、集中力の鍛錬②成長の軌跡を実感できる点③綿密に事前戦略を建てる楽しさ④弱点補強を探求するまでの道のり⑤試験後田中先生に正答を聞く時の高揚感などが挙げられます。リスニングセクション・リーディングセクション各々100問で構成されています。時間も何とか集中力を持続できる2時間です。私にとっては高度な問題内容、質問内容が自己研鑽に繋がると信じています。

ここで①～⑤の私のやりがい点をお知らせしたいと思います。賛否両論有るかと思いますが是非ご覧下さい。

①精神力、気力、集中力の鍛錬については、2時間という試験時間が格好の鍛錬対象です。目標設定スコアを突破したいという情熱がTOEICを受講する原動力になっており、その気持ちが潰えない限り格好の対象で有り続けると信じています。

②成長の軌跡を実感できる点に付きましては、1問当たりの解答時間が短縮できた時やリスニングテープのスピードに付いて行けた時です。具体的にはリーディングテストの長文・読解問題でスキミング、スキャン、リスニングテストでうまくキーワードを拾えた時に成長を実感します。

③リーディングセクションは時間配分を事前に練り上げます。最近ではパート5が20分、パート6が10分、パート7が45分と固定しています。1問当たり30秒がパート5、約40秒がパート6、約50秒がパート7という風に時間に対する戦略を建てます。まさに“時間”との戦いです。

④弱点補強に付きましては、TOEICテスト終了後理解できなかった問題を検証する事が挙げられます。毎回ですが文法上、語法上、慣用表現が該当します。TOEIC以外ですと、日頃目を通す新聞記事や雑誌で発生した疑問や理解できない点を解説本中心に克服を試みています。この点もTOEIC試験時に大きく役立ちます。

⑤毎回田中先生に正答を聞く時の喜びは至福の瞬間です。特に答えが合っている時は自信が漲ってきます。この行為は“TOEIC試験中毒”と言えるかもしれません。ペーパーテストが強い方に聞いた事があります。「私はペーパーテストが好きで好きでたまらない」と。まさしく“好きこそ物の上手なれ”だと実感しました。

今後のTOEICに対する期待は、やはりより難解な問題内容と効果的な問題形式への進化です。最近、1部問題形式が変わり以前より難度も上がったと私は思います。できれば2、3年に1度のマイナーチェンジを渴望してやみません。

津田沼校マネージャー 伊藤 環

AO・推薦入試、編入試験、内部進学をご検討されている方は是非ご相談を！

昨今当校でも大学AO・推薦入試、大学編入試験、中学・高校内部進学を目指し入会される方が増えてます。なぜなら全ての入学試験におきまして“英語”が重要な存在だからです。

大学AO・推薦入試では一部大学では“評定平均”を重視します。そこで英語が足を引っ張っているようですと問題です。一般入試での大学入学者は私大で約50%を割り込む時代が到来しAO・推薦入試で入学する状況が当たり前になりつつあります。

大学編入試験に付きましては国立大、私大へ編入を希望される方の英語能力が合格の鍵を握っているといっても過言ではありません。多くの大学で編入後英語能力不足により英語の授業についていけない生徒が発生するようです。大学側としては受験生の学習レベルを測る上で英語が一番分かりやすい科目と位置付けています。

中学生・高校生内部進学に付きましては英語は重要です。プログレス、トレジャー等の演習・復習がテストでの高得点を取る鍵を握っています。しかし生徒様の多くが学校授業のペースが早い為演習・復習不足に繋がってしまうようにテストの点数が伸びないのが現状のようです。進学基準において内申点や評定平均、実力テストの点数が内部進学に影響します。英語の点数ももちろん重要です。

上記目的で“あぜりあ”に入学される生徒様の共通点は“一般の集団学習型塾ではとても目標達成はおぼつかない”といった点に有るようです。是非あぜりあの“マンツーマン受験対策コース”をお試し下さい。